

トラックの王者 中大 圧巻の劇走

9種目中



「連覇つないでいけるように」 今村氏も賞賛



中大自転車競技部がインカレトラック大会で総合優勝を挙げた。9種目中7種目の優勝と圧倒的な強さで王者の実力を証明した。技群のスピリット力で競り勝った山本。マディソン、4*インディヴィジュアルパーシュートで二冠と、エースとして臨んだ集大成の舞台で栄光をつかみ取った。【関連記事ページ】

トラックの王
やっぱり中大は強かった。4年間の集大成にふさわしい、不屈の走行。マディソンのゴール直後に見せた山本の笑顔に、自然と絶対王者の夢を映す。インカレトラック大会総合優勝。選手の努力が、一足一足に懸ける思いの全てが、長野の真夏の空に結実した。

これぞ「エース山本」だった。スプリントで無類の強さを誇る男は持久力も圧巻。「マディソンは前日の夜から厳しいレースになると思っていて（出場チームの中で）1番耐え切れた結果」。共に走り、共に戦う。序盤から他大のマークが激しく厳しいレース展開。だからこそ中村龍吉（経3）との巧みな連携で構ってみせた。「4年生の強さイコールチームの強さになる」（高島監督）。監督は背中から引っ張る最上級生をねぎらった。

最速の帰宅部
落ち葉を踏み、山道を夢中で駆け登る。山梨県の昇仙峡を山本は走っていた。実家に近いこの場所は、美しい渓谷と山頂の絶景が広がる。山本の脚を鍛えた原動力。このひとときひとときが一体どこにつながっているのか。当時18歳、高校1年生の山本には知る由もなかった。通学の定期代を浮かせるために買ったのがきっかけで始めた自転車競技。出身の進峰高校には自転車競技部がなく、一人で立ち上げた苦学部。部として認められるのに時間がかかったが、当初は「最速の帰宅部」と呼ばれ、高校時代から結果を残してきた。あれから6年、4*インディヴィジュアルパーシュートとマディソンで優勝と、大学の頂点山本は出ていた。「しっかり実力を証明できて良かった」。山本が2種目で「最速の自転車競技部員」になった瞬間だった。

中大スポーツ CHUO SPORTS
9月21日 火曜日
創刊20周年
第166号



トラック大会の中大優勝者一覽

SPRINT
梶原海斗
梶原 両脚を踏むように走り出した

MADISON
山本中村
中村 梶原さんと最後のマディソンだったので気持ちいいですね

TANDEM
青木保世
青木 足がきつかなかったけど保世の足が速かったです

KEIRIN
市田龍生都
市田 自分も頑張ってきたんですけど市田に勝てました

TEAM SPRINT
大橋梶原市田
梶原 僕も最後まで頑張ったんですけど大橋が速かったです

INDIVIDUAL TRIAL
市田龍生都
市田 三冠は目指していましたができませんでした

4km INDIVIDUAL PURSUIT
山本哲央

執念の4年間
練習の過程が本当に苦しい競技」と山本は語る。敵の華々しい栄光からは想像できないほど、求道者のようにハンドルを握る日々はとにかく地道。関節に負担がかかるように競技特性があるからこそ練習量がものをいう。それは努力が報われず、競技でありながら、裏を返せば走り続け、自身を追い込み続けなければならないという意味でもある。それはあまりにも過酷な時間と思えた。

しかし勝者のみが得られる歓喜の瞬間が山本の「走る意味」につながる。「自転車は長い時間戦って一人が勝つという競技なので、中毒性の高い喜びを感じられる時最高だなんて」。勝ちにこだわらないうえ、それはトラック大会の1週間前に行われたロード大会での敗北を通して感じられた。「現実として受け止められない」。開始早々まさかの機材トラブルで最後のインカレを終えた山本。他大選手との接触が原因だが、自分の弱さとして受け止める。「もっと練習量を増やさないといけない」。交錯する胸中から訪れた言葉の響きも、山本のアスリートとしての矜持（きょうじ）を現していた。ただ言葉では容易に表現できないほどの自転車に対する特別な想い。それはロードでの悔しさがあって変わることはない。「自転車は自分の価値観とか生き方を変えてくれるもの。これからも大きく変えられることがあるだろう」。誰よりも自転車と向き合い続ける。それはこれから険しいプロの舞台、世界への挑戦を控える山本の最大の武器になるだろう。高校で自転車競技の道を選び、誰にも負けない走りを目指して来た一歩のスタートと、この瞬間。夢のように過ぎ去った4年間の振り返り時、そこから見える景色に一切の曇りはなかった。「自転車って最高だ」。(辻市雄大)

山本世界への展望
今村氏のメッセージは中スポWEB

種別	種目	順位
トラック	スプリント	梶原海斗 (経4) 優勝
4kmIP	山本中村 (経4) 優勝	
タダメスプリント	梶原海斗 (経4) 優勝	
チームタイム	梶原海斗 (経4) 優勝	
マディソン	山本中村 (経4) 優勝	
4kmIP	青木・山本・梶原 (経3) 2位	
チームスプリント	梶原海斗 (経4) 優勝	
タイム	市田 優勝	
1kmTT	市田 優勝	

4*インディヴィジュアルパーシュートの表彰式後にウィニングランをする山本（カメラ・辻市雄大）切り込み写真はマディソンのレース後笑顔を見せる山本と中村

今村氏が今大会で「インカレ」を制した。中大の選手たちは、インカレで優勝し、選手としての成長を遂げた。中大の選手たちは、インカレで優勝し、選手としての成長を遂げた。中大の選手たちは、インカレで優勝し、選手としての成長を遂げた。

MARCH 2021 10/10 12:00~17:10

●後日オンデマンド配信予定
*録画視聴を希望される方はまずはエントリーしてください。

第2部参加予定企業 *印企業は後日配信予定の録画のみ参加
DNPグループ(DNP情報システム、DNPデジタルソリューションズ) 旭化成/オープンハウス/講談社/雪印メグミルク* オープンハウス/講談社/雪印メグミルク* オープンハウス/講談社/雪印メグミルク* オープンハウス/講談社/雪印メグミルク* みずほリサーチ&テクノロジーズ/カゴメ/農林水産省*他

第1部 MARCH学生のための就活対策講座
時間 12:00~12:55
●選考ステップ別面接対策講座
●企業のMARCH採用ウラ事情

Amazonギフト券 500円分 プレゼント

右記QRコードからお申し込みください。ご参加お待ちしております。
WEBセミナー詳細
<https://www.s-walker.net/2023/contents/live/march116>

LIVE VOICE!
運営:株式会社ジイブロード 〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-5 田創館
お問合せ先: tokyo@j-broad.co.jp